



(上段左から)
 ・吉浜まち協「通学路の確認事業」
 ・「大家族フォーラム 2nd」での高浜高校生
 ・南中「中学生とあかちゃん親子のふれ愛交流会」
 ・春の鬼みちまつりで瓦粘土の体験風景



5月5日～11日 児童福祉週間

「その笑顔 未来を照らす 道しるべ」

5月5日の「こどもの日」から1週間は、子どもや家庭、子どもの健やかな成長について考える「児童福祉週間」です。「高浜を愛し 高浜の良さを学んで 高浜でたくましく生きる 未来市民の育成」をめざすこのまちで、子どもたちの育ちに地域はどんな関わりができるか、4月に就任した都築公人教育長にインタビューしました。

子どもは未来からの留学生

「子どもは未来からの留学生」といいますよね。子どもたちを、今、しっかりと育てれば、我々みんなに明るい未来がくる。そう考えると大人は責任重大です。

学校は社会の縮図で、安定感のない時代には子どもたちにもさまざまな不安が潜んでいます。学校だけでは対応しきれない課題もあります。

いま、市では困窮家庭などの子どもたちの学習支援の取組み（※参照）もスタートしていますが、ふだんの生活のなかでも、地域の方々の支えは欠かせないものになっていると思います。

私は、たかはまで生まれ育った地元大好き人間です。吉浜小学校・高浜中学校を卒業したあと、高校・大学は刈谷市に通いました。また、教員時代は碧南市に3年間赴任しましたが、あとはほぼ市内の学校で教鞭をとり、たかはまの子どもたちとすごしてきました。

たかはま大好きです



教育長 都築公人
 昭和28年高浜市生まれ
 南中教頭、市教育委員会学校経営グループ主幹を経て港小と高浜中の校長を務めた。平成28年4月教育長就任